お雛様を描こう

１６．

完成図



顔の例

**準備**

１．服の生地用に下の図を保存しておきます。

　　　　　

　　　画像01　　　画像02　　　画像03　　　画像04

デスクトップに「服の生地」の名称のフォルダーを作り、一つずつ選んで次の手順で図として『服の生地』フォルダーに保存します。

①選んで右クリックをし、表示されたメニューの［図として保存］をクリックします。

②『図として保存』ボックスが開くので『服の生地』フォルダーを選びで開き、各図の下に書いてある名称を『ファイル名』に記入して、『ファイルの種類』の右枠にある下向き山形をクリックして［JPEG］選び、［保存］をクリックします。

２．『表示』タブの『表示』グループの［グリッド線］をクリックします。

３．『レイアウト』タブの『配置』グループの［配置］をクリックします。

４．表示されたメニューの［グリッドの設定］をクリックします。

５．『グリッドとガイド』ボックスが表示されますので『グリッド線の設定』見出しの『文字グリッド線の間隔』に「1字」を記入、『行グリッド線の間隔』で「1行」を入力します。

６．次に『グリッドの表示』見出しの［グリッド線を表示する］にチェックマークを入れ、［文字グリッド線を表示する間隔］にチェックマークを入れ、右の枠に「2」を記入、『行グリッド線を表示する間隔』に「1」を記入して［OK］をクリックします。

このグリッド線でそれぞれの部品の形、大きさをバランスよく決めます。

**おびなを描く**

おびなのパーツは　台形：四角：二等辺三角形：代替処理　などで描きます

**上着（縫腋袍：ほうえきほう)部分を描く**

１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２．『基本図形』の［台形］をクリックし、空白部分をクリックして台形を描きます。

３．台形を選び『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックして表示されたメニューの中の［上下反転］をクリックします。

４．上の幅を『拡大縮小ハンドル（白丸）』の横を使ってグリット幅９つ分にします。下の幅を『調整ハンドル（黄色丸）』を使ってグリット幅７つ分左右対称に広げます。

５．上下は『拡大縮小ハンドル（白丸）』の下を使ってグリット幅４つ分にします。

６．台形を右クリックして表示されたメニューの［頂点の編集］をクリックして、四隅に黒い小さな四角を表示したのを確認します。ポインターを台形の右斜辺の中ほどに移動し、小さな四角が４つ四角く並び上下左右に線が引かれる状態になるよう移動します。

７．そこでクリックし、右にポインターを辺の上が垂直になるまで移動します。下の白い四角にポインターを移動し、四角の周りに三角を表示するようにします。そこでクリックして白い四角を下のグリッド線までドラッグします。右下に丸みを帯びさせることができます。

８．左斜辺にも同じ操作をして左下に丸みを帯びさせることができます。

９．コピーを作り左右から少し幅を狭め、上下を合わせ左右の中央を揃えて重ねます。

１０．上着の内側を選びます。『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューの［図］をクリックします。『図の挿入』ボックスの［ファイルから］をクリックします。生地用に保存したフォルダーを開きます。［画像01］をクリックして選び、［挿入］をクリックします。

１１．上着の内側を選んだまま『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

１２．上着の外側を選んで、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

１３．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

１４．『基本図形』の［フレーム（半分）］をクリックし、空白部分をクリックしてフレーム（半分）描きます。

１５．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さ・幅ともに「12.8」を記入します。

１６．『調整ハンドル（黄色丸）』を使って図形の幅を狭くします。

１７．『図形の書式』タブの『図形の塗りつぶし』の［オレンジ、アクセント２、白＋基本色６０％］をクリックします。

１８．『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックして表示された［その他の回転オプション］をクリックします。

１９．『レイアウト』ボックスの『回転』見出しの『回転角度』に「225」を記入します。

２０．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

２１．上着のほぼ真ん中の上に移動させます。

２２．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２３．『基本図形』の［直角三角形］をクリックし、空白部分をクリックして直角三角形描きます。

２４．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さ・幅ともに「8」を記入します。

２５．『図形の書式』タブの『図形の塗りつぶし』の［白］をクリックします。

２６．『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックして表示された［その他の回転オプション］をクリックします。

２７．『レイアウト』ボックスの『回転』見出しの『回転角度』に「315」を記入します。

２８．先ほどのV字の中に移動します。

２９．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

**袴部分を描く**

１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２．『基本図形』の［台形］をクリックし、空白部分をクリックして台形を描きます。

３，下の幅を『拡大縮小ハンドル（白丸）』の横を使ってグリット幅７つ分にします。上の幅を『調整ハンドル（黄色丸）』を使ってグリット幅５つ分左右対称に広げます。

４．上下は『拡大縮小ハンドル（白丸）』の下を使ってグリット幅７つ分にします。

５．袴部分を袖部分に中心線を合わせてくっつけます。

６．袴を選びます。『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューの［図］をクリックします。『図の挿入』ボックスの［ファイルから］をクリックします。生地用に保存したフォルダーを開きます。［画像02］をクリックして選び、［挿入］をクリックします。

７．袴を選んだまま、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

**帯を描く**

１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２．『基本図形』の［二等辺三角形］をクリックし、空白部分をクリックして二等辺三角形を描き下辺を１ます分の幅に、上下を６ます分にします。

３．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

４．『基本図形』の［台形］をクリックし、空白部分をクリックして台形を描き下辺を１ます分の幅に、上下を２ます分にします。

５．台形を４５度くらい右に傾けます。

６．傾けた台形をコピーします。

７．『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックして表示されたメニューの［左右反転］をクリックします。

８．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

９．『基本図形』の［正方形/長方形］をクリックし、空白部分をクリックして四角を描き、グリッド１ます分の大きさにします。

１０．下の図のように組み合わせます。

１１．二等辺三角形以外を選んで、『図形の書式』タブの『配置』グループの［グループ化］をクリックします。

１２．グループ化した部分を選んだままにします。『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューの［図］をクリックします。『図の挿入』ボックスの［ファイルから］をクリックします。生地用に保存したフォルダーを開きます。［画像04］をクリックして選び、［挿入］をクリックします。

１３．グループ化した部分を選んだまま、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

１４．二等辺三角形を選んで、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューのパレットの［プラム］をクリックします。

１６．二等辺三角形を選んだまま、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

１７。帯の上の部分と二等辺三角形を選んで、『図形の書式』タブの『配置』グループの［グループ化］をクリックします。

１８．帯と袴の中心線を合わせます。

**顔と冠を描く**

１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２．『フローチャート』の［代替処理］をクリックし、空白部分をクリックして代替処理を描きます。

　　

３．選んだまま、『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューのパレットの［黒］をクリックします。

４．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［17］を幅に「17.5」を記入します。

５．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

６．『基本図形』の［楕円］をクリックし、空白部分をクリックして楕円を描きます。

７．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［19］を幅に「16」を記入します。

８．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューのパレットの［白］をクリックします。

９．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューのパレットの［うすい黒］をクリックします。

１０．先の黒い図形を楕円と左右は中心線を合わせ、縦方向は楕円の半分ほどの位置に移動します。

１１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

１２．『フローチャート』の［端子］をクリックして選び空白部分をクリックし端子を描きます。

　　

１３．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［4］を幅に「20」を記入します。

１４．『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックし表示されたメニューの［左へ９０度回転］をクリックします。

１５．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

１６．『フローチャート』の［表示］をクリックして選び空白部分ををクリックし表示を描きます。

　　

１７．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［20］を幅に「13」を記入します。

１８．『図形の書式』タブの『配置』グループの［オブジェクトの回転］をクリックし表示されたメニューの［左へ９０度回転］をクリックします。

１９．『端子』を『表示』の上に移動し、左右は中心線を合わせ、縦方向は『端子』の下の丸みが隠せる位置にします。

２０．『端子』と『表示』をともに選び、『図の形式』タブの『配置』グループの［グループ化］をクリックして表示されたメニューの［グループ化］をクリックします。

２１．グループ化した部分を選んだままにします。『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューの［図］をクリックします。『図の挿入』ボックスの［ファイルから］をクリックします。生地用に保存したフォルダーを開きます。［画像04］をクリックして選び、［挿入］をクリックします。

２２．グループ化した部分を選んだままにします。『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックして表示されたメニューの［枠線なし］をクリックします。

２３．顔へ移動し、左右の中心線を合わせ、上下は顔が少し隠れるような位置にします。

**首元のひもを描く**

１．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

２．『基本図形』の［楕円］をクリックし、空白部分をクリックし楕円を描きます。

３．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［3］を幅に「20」を記入します。

４．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックして表示されたメニューの［塗りつぶしなし］をクリックします。

５．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックし、パレットの［緑、アクセント６、白＋基本色６０％］をクリックします・

６．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックし、［太さ］をクリックして、［2.25］をクリックします。

７．コピーしてもう一つ作り、橋と橋を合わせ横向きの８の字にします。

８．『挿入』タブの『図』グループの［図形］をクリックします。

９．『基本図形』の［アーチ］をクリックし、空白部分をクリックしアーチを描きます。

１０．『図形の書式』タブの［サイズ］の高さに［32］を幅に「25」を記入します。

１１．『調整ハンドル（黄色丸）』を使って紐に見えるよう細くします。

１２．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の塗りつぶし］をクリックし、パレットの［緑、アクセント６、白＋基本色６０％］をクリックします。

１３．『図形の書式』タブの『図形のスタイル』グループの［図形の枠線］をクリックし、［枠線なし］をクリックします

１４．横八の字の下へ左右中心線を合わせて重ねます。

１５．三つの図形を選んで『図形の書式』タブの『配置』グループの［グループ化］をクリックし表示されたメニューの［グループ化］をクリックします。

１６．顔のあごの下へ移動します。

目、鼻、口は自由に書き込んでください、